

次号予告「社会実装が加速する深紫外域のテクノロジー」

巻頭言

「深紫外線」という言葉を考える ……竹下 秀

総合報告

AlGaIn 系深紫外 LED の最近の進展と今後の展望
……………平山秀樹ほか

解説

人体に安全な感染防止用紫外光源の実現…根尾陽一郎
深紫外光エレクトロニクスデバイスの高効率化を目指

した新しい透明電極材料の開発……………廣瀬 靖
紫外放射照度測定のための計測器とその特徴

……………岩佐祐希

フォーカス

殺菌における光回復の点から見た 222 nm の有用性
……………奥村善彦ほか

光学ハイライト

気になる論文コーナー

今後の特集予定

- 53 巻 6 号「2023 年日本の光学研究」
- 53 巻 7 号「プラズモニクスの基礎科学と新展開」
- 53 巻 8 号「分子・原子分解能をめざすナノプローブ分光」
- 53 巻 9 号「バーチャルリアリティと光学技術の融合」
- 53 巻 10 号「次世代の人工現実感を映し出す技術」

// 編集後記 //

今回の特集では、「光学の美容皮膚科学への活用」と題し、光の生体組織への作用メカニズムの原理から、レーザーなどの光源の安全基準、医用レーザー装置、さらに臨床での光を用いた治療について、工学・医学の各立場の方々にわかりやすく解説していただきました。

皮膚は身体の外表面にあるため、ヒトを対象とした光学的治療・計測は皮膚を介するものが多くなります。美容皮膚科学では、健康な皮膚でのシミ・肝斑・ニキビなどの各症状の治療を対象とするために、低侵襲的治療・計測が可能な光学技術が応用されています。しかし、光学的知見が皮膚治療の原理や機器にどのように活用されているかについては、光学研究開発者も熟知していない部分もあります。本特集では、皮膚・装置・治療まで、解説を多角的に構成いたしました。美容皮膚科学そのものや、その臨床現場で用いられている光源についてあまり馴染みのない読者の方々に、少しでも興味をもっていただけると幸いです。

私自身、初めて編集委員として企画を担当したこの機会に、非常に多くのことを学ばせていただきました。本特集が、読者のみなさまにとって異分野と接するきっかけになることを心より願っています。最後に、ご多忙にもかかわらず快くご寄稿いただいた著者のみなさま、多くの助言をいただきました編集委員のみなさま、丁寧に原稿を取りまとめていただいた編集局に深く感謝申し上げます。(江川、水野)

原著論文を募集しています

「光学」では、日本語の原著論文を募集しています。会員・非会員を問わず、自由に投稿できます。皆様の意欲的なご投稿をお待ちしております。

また、上記に加え、特集テーマに関連のある原著論文も募集しています。この場合、採択となった論文はその特集号に合わせて掲載できるよう、査読作業をより迅速化いたします。特集テーマ関連の投稿締切は、当該特集号発行月の4か月前の10日です。特集号を明記のうえご投稿ください。

日本光学会ホームページ <http://myOSJ.or.jp/>

光 学 2024 ©

第 53 巻 第 4 号 <月刊>

2024 年 4 月 10 日 発行

定価 1,500 円 (送料実費)

発行/ 一般社団法人 日本光学会
〒112-0002 東京都文京区小石川 2-23-11
常光ビル 7F 有限会社学術新報社内
E-mail: info@myOSJ.or.jp

印刷/ 大昭和印刷株式会社

「光 学」編集委員会

| | | | |
|--------|--------|-------|-------|
| 芦原 聡* | 的場 修** | 内田 美幸 | 江川麻里子 |
| 大平 倫裕 | 岡野 誉之 | 奥平 陽介 | 桶谷 亮介 |
| 角田 英俊 | 金 蓮花 | 黒坂 剛孝 | 小林 弘和 |
| 酒井 大輔 | 庄司 暁 | 瀬谷 安弘 | 田代 知範 |
| 豎 直也 | 玉田 洋介 | 張 開鋒 | 角井 泰之 |
| 中川 桂一 | 中山 雄太 | 日達 研一 | 藤井 瞬 |
| 藤井 宏昌 | 藤村佳代子 | 細木 藍 | 堀切 智之 |
| 堀崎 遼一† | 水谷 康弘† | 三宅 大助 | 本山 央人 |
| 安田 英紀 | 矢次 健一 | 和田 篤 | |

*委員長 **副委員長 †光学及び光技術調査委員長

編集局 新沢佐和美

制作/ 有限会社学術新報社
電話 03-3816-3991 Fax 03-3816-3992
E-mail: kogaku@academic-j.co.jp